

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」刈谷校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	9人
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画に沿った支援が行われていること。 また保護者様に見学や今回の支援の振り返りの機会を設け、情報共有をしているところ。	フィードバックの時間は保護者様の用事がある場合を除いて必ず時間を設けるようにしている。また保護者様には見学の希望がある場合は見学を設けていることを個別で声をかけており、必要に応じて相談援助を合わせて行っている。	現在も行っているが今回の支援がどのような目的で行ったのかを保護者様が納得していただけるように説明を続けていきたい。例えばお子様のコンディションが悪い中でいつもと違う対応をした場合にはなぜそのような対応を行ったのかを根拠に基づいて説明出来るようにしていきたい。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明をしていること。	昨年の保護者様のご意見（マニュアルがどこにあるのか分からない、また本当に刈谷校に必要な訓練が実施されているかどうか分からない）を踏まえて、玄関先にマニュアルを整備しいつでも保護者様が閲覧できるように工夫を行った。	新規利用者様に関してはおそらくどこにあるのか分からないということがあると思うので、契約時の際に「ここに整備をしています」ということを伝えて安心できるように図りたい。
3	利用者様が通所を楽しみにしているということ。	本人にとって苦手なことばかりにフォーカスを当てるのではなく得意な所に注目して信頼関係を築くようにしている。十分な信頼関係がつかめた後に、どのような順番でプログラムを進めるとやる気が出るのかも考えながら支援を行っています。	見学に来る保護者様の中には「苦手なことをすぐに出来るようにしたい」と焦る保護者様もいる。しかし最初から苦手なことだけに焦点を当てるとお子様の自己肯定感が下がってしまうということを伝え、お子様に対する見る視点を変えようということも重要であると考えている。そうすることで利用者様も保護者様も考え方に変化が出るのではないかとと思っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの問題について（特に階段部分に不安を感じる部分がある）	小さな利用者様の場合、階段を上る際にかなり時間がかかってしまい転倒をするリスクも考えられるので注意が必要。また段差が大きいため手すりにも手が届かないというケースがある。	基本的に小さなお子様は階段の昇降の際に大きなリスクを伴う場合がある。そのため基本的には1階で行い負担を減らせるようにしていきたい。また止むを得ずに階段を使う場合には上るときにはお子様を前、スタッフが後ろに、降りるときは反対にスタッフが前、お子様が後ろというように大きな事故に繋がらないように配慮をしていきたい。
2	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催により、保護者様同士の交流の機会が設けられていない。	実際開催をする機会もなかなかなく、開催しても日頃からお会いしていないと参加者も少ないと考えているため、なかなか開催することが難しいことが考えられる。	まずは同じきり方で父母の会を行っているところでのように行っているのかを参考にし、内容をもとに保護者様に周知を行い必要に応じて開催をしたいと考えている。ただし保護者様の意見の中には「行わなくても良い」という意見もあるため慎重に検討をしたい。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	実際交流する機会が少ない現状がある。また保育園や幼稚園などのご協力がないと実際開催は難しい部分もある。	他のきらりの校舎で連携を行っている部分があればどのように行っているのか、また保育園や幼稚園のご理解を得るにはどのようなアプローチを行っているのかを再度検討しながら進めていきたいと思っている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」刈谷校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

10人

回収数

9人 (回収率90%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	0	・段差が高い。	ご意見ありがとうございます。基本的に1階の療育室を優先的に使用していますが止むを得ず3階の療育室を使用する場合はスタッフを1名以上配置し安全に考慮するようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	3	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	3	4		

保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」刈谷校			公表日		2026 年 2 月 14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令遵守をしたスペースを確保している。	基本的に利用者様が集中できる環境になるように今後も環境の整備をしていきたい。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる人数を確保している。	基本的に担当支援員に関しては、利用者様のニーズに合った専門的な支援員を配置するようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	支援室には番号を表示するようにしており、利用者様にとっても分かりやすい環境にしている。また廊下等には物は設置せずに安全を確保するようにしている。	バリアフリーには一部非対応。 →階段には手すりを付けたり、滑り止めを設置している。また階段の上り下りに関しては職員が一名以上配置した上で安全の確保を図っている。（上りはスタッフが後ろ、下りはスタッフが前）		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育室は個室となっているため、お子様にとっても安心できる環境を提供している。	退出時間や入室時間が重なると狭くなることがあるので、調整をしていきたい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者様の特性に合わせた環境を設けている。	上記の内容に付随することであるが、退出時間や入室時間帯によって狭くなることがあるので調整を今後していきたい。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	○	朝礼の際に必ず全員で内容を共有できるようにしている。お休みの人にも確認できるように議事録を作成し、全員に確認できるようにする。	担当制になっているので、個別に対応することもあるため、スタッフ全員で共有できるような環境を設けていきたい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様から何か意見があった場合は早期に上長と連携を取りながら解決をするようにしている。	状況によって保護者様からもなかなか言えない部分があるため、LINE等を活用して気軽に意見を出せるような環境にしていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1on1を実施しているので、普段の声は届いていると感じている。	以前は職員への伝達の仕方が中途半端になっていたのではないかとこの意見があったため、今回からダブルチェックをするなど行い情報の漏れがないように心がけている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	社内監査を年に1回定期的に行っている。 →是正内容はすぐに職員に共有を行い、対策を講じている。	逆に言えば社内監査ぐらいしか行っていないのではないかとこの意見も見られた。 →近隣の校舎（ブロック内の校舎）で定期的なチェックを行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		義務化された研修は会社内で行われるようになっていた。また1ヶ月に何回か法定研修以外にも職員が研修に参加できる任意の勉強会や相談会を行っている。	社外の研修や勉強会にも参加をしているが機会がなかなか少ないように感じる。オンラインなどの研修も通じて質の向上に努めたい。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	○	事業所のHPで公表している。	保護者が認知しているかどうか微妙なところがあるという意見が見られたため、校舎内の掲示板にて公表されている旨を伝えられると良いと考えている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援終了後のフィードバックで聞き取りを行い、作成をしている。	定期的に保護者への聞き取りを行う中で計画に反映できるようにしていきたいと考えている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		管理者の方に何か小さな変化があった場合にはすぐに報告するような体制を整え、場合によっては保護者様に聞き取りや事業所内相談を設けている。	MT時に情報共有を図っているが、さらに情報の共有ができるような環境を整えていきたい。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員がお休みをしたりする場合には必ず今何が行われていたのかの引き継ぎを行い、現在の状況を把握した上で次の支援に繋げている。	基本的に計画に沿った支援を行っているが、状況に合わせて計画の見直しなども行っていきたい。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	○	会社から出ているアセスメントシートを保護者様に記入をしていただき、現状の把握をしている。	意見の中には「他にも効率的で精度の良いツールがあると良い」という意見が見られた。事業所で使える効率的なものがあれば今後も考えていきたい。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	○	個別支援計画にはその内容を全て記載しており、刈谷校のスタッフに周知している。また分からないことはいつでも質問ができる環境に整えている。	地域支援・地域連携の部分にも具体的な評価が出来るように目標を立てていきたいと考えている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	○	難しいケースの場合には指導員が何人か集まって会議を開いて意見を交換する機会を設けている。	「いいえ」の意見として個別支援のため個人で解決しようとする部分が多い。重要な項目に関してはMTで共有をしていく。		

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の状況に合わせて固定で行うプログラム+振り返り等を通して固定化しないよう変更を行っている。	保護者様から何かご要望があった場合にはその内容を聞き取り、現在支援の中の様子を伝えた上でプログラムの調整を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	集団で行う活動は防災訓練やイベントの時にやっている。	防災訓練やイベント等の参加の機会を増やしながら集団の活動も行っていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	○	難しいケース等の支援の際には管理者を交えてプログラムの調整を行い、その後の報告を行うようにしている。	個別の支援や時間などの関係で後日になることもあるので、時間を確保しプログラムや質の向上に努めていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	支援終了後に打ち合わせが出来ない場合は、翌日引き継ぎ時などで情報共有を行うようにしている。	直接的な共有が出来ていないので支援記録に詳細に残しているが、話し合いの機会も今後増やしていけると良い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は誰が見ても詳細に内容がわかるように細かく記録や専門的支援実施記録を記載している。	支援の記録はその日あったことだけでなく、今回の支援を受けての課題も記載できると良い。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回必ずモニタリングを行い、保護者様の意見や支援員の意見を聞いた上で計画の変更を適宜行っている。	現在半年に1回をベースに行っているが、緊急性が高い場合には半年以内にモニタリングを行いその子にあった計画にしていきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援の担当者及び児発管がサービス担当者会議に参加をしている。	担当者が他の業務などで参加できない場合は管理者と打ち合わせの上、会議で伝えるべきことを共有し行っている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	教育機関などの見学や連携、会議の回数は去年と比べると増えてきている。	教育機関などによっては連携することが難しいことがあるので、少しずつ信頼が得られるように工夫をしていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	○	ニーズに合わせて情報共有を行っている。	今後の改善策としては保護者様への聞き取りを始め、以前通っていた児童発達支援への電話での聞き取り等を通じて情報共有を行っていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	○	事前に保護者様を通じて小学校や特別支援学校との間への情報共有を報告書等を通して行っている。	就学前にはききりでも事業所内相談を設ける等、就学に関する相談をする場を今後も受けたいと考えている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	○	地域で開かれる研修に参加をする機会は増えている。	スーパーバイズや助言の機会は多くないため、研修の機会を今後も増やしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	ききり刈谷校ではそのような機会を設けていない。	保護者様から今後ご要望があれば積極的に行っていたい。
保護者等への説明	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	○	支援が終了した後に行われるフィードバックの時間で情報の共有を行っている。	フィードバックの時間が十分設けられない時には、報告書にて情報の共有を行ったり、後日電話で情報の共有を行うようにしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	専門の公認心理師の指導員を中心に何名かにペアレントトレーニングや事業所内相談を行った。	事業所内相談をしたいという申込は増えてきているため今後保護者様に相談できる機会を設けられればと思っている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時の時に説明、もしくは保護者様から質問を受けたときには適宜対応をしている。	十分説明が出来なかった保護者様向けに玄関でいつでも見られるように工夫を設けたいと考えている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援前にはお子様の様子を各指導員の方から聞くようにしている。支援終了後にはお子様の様子を踏まえた上で報告を行い次のプログラムの調整に努めている。	より一層保護者様が満足、納得できるような説明を行い信頼に繋げていきたい。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援を行う前の月に保護者様に確認をした上でやっている。	今後も継続をしていきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバックの時間にも設けているほか、事業所内相談等の提案も行い、機会を増やすようにしている。	今後も継続をしていきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	きょうだい対谷校ではそのような機会を設けていない。	保護者様からご要望が多くあれば設けたいと考えている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情などがあつた場合にはその日のうちに状況をまずは上長に報告をし、早急な解決を目指して動くようにしている。	個別の案件について適切かつ迅速に対応してきた。今後もそのような対応に努めたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPではブログの内容を2回以上更新している。	HPで更新されたことに対してまだ分からないという部分があったため、今後はLINEのリッチメニューを活用して更新出来たかを行うようにする。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人名を言わなくとも、その子であると特定されるような発言も控えるように徹底している。	今後も個人情報の管理は徹底的に行っていきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		職員間で情報の共有を図るように努めている。	今後も誤った認識が無いように努めたいと考えている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	地域で行うイベント（例：ほうでいって何？）等のイベントには参加をするようにしている。	今後も機会があれば参加をしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは必ず策定をし、保護者にも閲覧できるように玄関先に置くなどの工夫を行っている。	以前よりは把握されている保護者様も増えてきているが、まだ不十分なところがあるので徹底を図っていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは必ず策定しており、保護者様にも閲覧できるようにしている。訓練も定期的に行っている。	以前よりは把握されている保護者様も増えてきているが、まだ不十分なところがあるので徹底を図っていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服用している薬などがある場合には、その情報を保護者様から事前にお聞きし、必要な対応を行っている。	保護者様からの情報提供を得た上でやっている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	食物を取り入れていない。	今後イベント等で食物を取り入れる機会があれば取り入れていきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は作成しており、訓練及び研修を行っている。	緊急時に備えた備品で一部不十分なものがあるため補充を急ぎたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時の際に説明を行っている。	今後も保護者様が安心できるように継続をしていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		何かあったときにはミーティングにおいて共有を行い、再発防止に向けての対策を講じている。	今後も保護者様が安心できるように継続をしていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社で行われる法定研修に全職員が参加をしている。	契約時に保護者様にも研修を必ず行っているということを伝えている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束については個別支援計画にも必ず記載の上、契約時には保護者が理解しやすいように例を示しながら保護者様に同意を得ている。	保護者様にも身体拘束についての説明に関しては重説に基づいて行っている。